

# ～教員おすすりめ本～

No. 4

国際学部 国際学科 グローバル専攻  
村山 綾



『ピクサー流 創造するちから  
小さな可能性から、大きな価値を生み出す方法』

エド・キャットムル、エイミー・ワラス 著  
石原薫 訳

## 【先生からのコメント】

トイ・ストーリー、インサイド・ヘッド、ファインディング・ドリー…と、映画館やDVDで見たことがあるかもしれないアニメーション映画は、ピクサーという会社によって製作されています。その会社の現社長である著者が、ピクサー設立当初からの困難や、会社の中での自分の役割、周囲（スティーブ・ジョブズやジョン・ラセター）との調整に関する自分自身の経験を、会社の成長とともに綴った一冊です。映画製作に関わる裏話も面白いですが、ぜひ、チームによる役割分担の重要性、多様性の受容、問題解決のためのプロセスに注目して読んで欲しい作品です。きっと得られるものがたくさんあるでしょう。



『木を見る西洋人 森を見る東洋人  
思考の違いはいかにして生まれるか』

リチャード・E・ニスベット 著  
村本由紀子 訳

## 【先生からのコメント】

「パンダ、サル、バナナ」のうち、関連する2つをあげてください、と問われると、あなたはどの2つを選びますか？実は、西洋人と東洋人で、選ばれる組み合わせが異なることが知られています。

なぜそのような違いが生じるのか、著者は、様々な心理学実験の結果や、歴史的背景、言語構造の違いから説明を試みています。どちらの文化が優れている、劣っているというような話ではなく、異文化コミュニケーションを行う上で知っておくためになる内容が多く含まれています。自分自身の思考スタイルを理解する上でも役に立つでしょう。

2016年11月25日  
近畿大学中央図書館